

佐賀市営公営住宅建設事業（^{えがしら}江頭団地）

受賞機関 佐賀市建設部住宅施設課

はじめに

市営江頭団地は、佐賀市の西部に位置し、市営団地のなかでは、比較的まとまった規模の団地である。

この市営江頭団地は、昭和39～40年に建設された準耐火平家建で老朽化が著しく、建替による居住水準の改善が急務であったため、建替え事業に着手した。

事業の概要

所在地：佐賀市鍋島町大字森田

敷地面積：14,100㎡

事業期間：平成8年度～平成12年度

総事業費：約26億円

整備概要：全8棟 132戸

1期工事 1～3棟 45戸

2期工事 4～6棟 38戸

3期工事 7～8棟 49戸

内訳 公営住宅 114戸

（内シルバー住戸 29戸）

特定公共賃貸住宅 18戸



エレベーターホール3つの棟をブリッジ(空中廊下でつなぐ)



江頭団地全景（南西より）



LSA執務室及び生活相談・団らん室

事業の特徴

建替にあたっては、周辺の田園風景と馴染むよう階数を低く抑え、3～6階で構成した。

また、高齢者にも対応するため3、4階建においてもエレベーターを利用できるように設置した。

エレベーターは、ランニングコストを考慮して、複数の住棟で共有できるようにブリッジ(空中廊下)でつなぐこととした。

また、福祉部門と連携したシルバーハウジング・プロジェクトにより、団地の集会所の他に、シルバー入居者の生活を支援するライフサポートアドバイザー(LSA)の執務室及び高齢者のコミュニケーションの場として生活相談・団らん室を設置し、高齢者が安心して住み続けられるようにした。

受賞賛助会員 (財)佐賀県土木建築技術協会